

# Lab News

## テーマ “当院の HBs 抗体測定のカットオフ変更が臨床に及ぼす影響”

当院では、平成 19 年（2007 年）5 月より HBs 抗体陽性の判定のカットオフ値を、10 IU/mL から 30 IU/mL へ引き上げておりました。理由は、HBV ワクチン予防接種の対象者漏れを減らし、より高い安全性を確保するためでした（平成 19 年 5 月 16 日総務課発行 院報第 44 号参照）。平成 26 年（2014 年）に「医療関係者のためのガイドライン」が改訂されたこと、また検査技術が向上したことから、平成 28 年（2016 年）9 月より、陽性カットオフ値を従来の 10 IU/mL へ変更しました（平成 28 年 8 月 29 日付業務連絡 No. 12 号参照）。

カットオフ値の変更後に、HBs 抗体を再検した症例で、判定が陰性から陽性になり、問い合わせがありました。

平成 19 年（2007 年）5 月から平成 28 年（2016 年）8 月までに測定した抗体価が 10 IU/mL と 30 IU/mL の間である場合は、陰性（-）と判定されていますが、実際には陽性（+）と判断されるため（図 1 参照）、既感染パターンの可能性があります。HBV ワクチン接種済か否かは、問診で確認をお願いします。以上より、経過観察される場合は注意をお願いします。

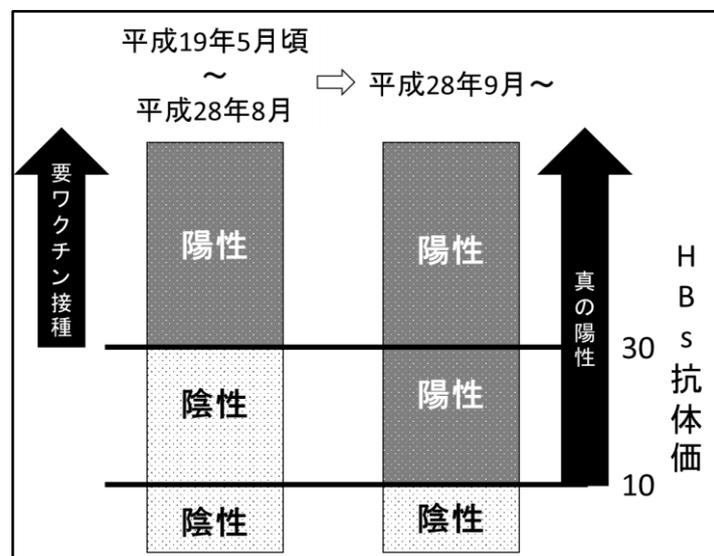


図 1

### <まとめ>

2007 年 5 月から 2016 年 8 月まで、HBs 抗体陽性のカットオフ値を引き上げています。

### 文献

1) エクルーシス試薬 Anti-HBs II 第 3 版.